

MMC 卒後臨床研修センター
MMC通信
発行日 平成21年5月15日(第46号)

トピックス
われら“就活”医学生
平成21年度マッチングMMC病院説明会開催される。
MMC臨床研修合同
オリエンテーション開催される
☆MMC輸液セミナー 開催報告

われら“就活”医学生 平成21年度マッチングMMC病院説明会開催される。

去る3月29日(日)三重県総合文化センターギャラリーにおいて、平成21年度マッチングMMC病院説明会が開催された。県内21の臨床研修病院が、5メートル四方のスペースをとこ狭しと趣向を凝らした展示や説明コーナーを設けて医学生の相談に当たっていた。三重大学病院のブースでは、同病院の特徴であるこの地域でも屈指のスキルラボの展示を行い、気管支・消化管内視鏡シミュレーターであるPreOpなどが展示され、多くの医学生の注目を浴びていた。医学生は県内より50名、県外より11名が参加し、各病院の研修医や指導医の説明を熱心に聞き入っていた。臨床研修制度の省令改正が進められている最中であり、今後プログラムや定員の変更なども話題に上がり説明が難しい状況下ではあるが、各病院は研修プログラム



の特徴や研修病院の方針や実績について熱心に説明を行っていた。なお同日午

前には、NPO法人MMC卒後臨床研修センターの臨時の理事会が開催され、竹田寛三三重大学病院長の新理事長への就任が承認された他、新年度の事業計画等が承認された。5月14日には年次総会(NPO社員総会)が開催され、事業計画の他、平成20年度決算案、21年度予算案等が審議、承認される予定である。



の次回

次回は平成21年3月28日(日)三重県総合文化センターギャラリーにおいて開催予定。



MMC臨床研修合同オリエンテーション開催される



本年度も三重県内の臨床研修病院21病院では、臨床研修医91名(内、歯科7名)を迎え、去る4月2日(木)合同オリエンテーションが開催された。まず、竹田新理事長の就職のお祝いの挨拶に続いて、三重県健康福祉部より福井敏人医療政策室長による、三重県の医療の現状と今後の政策についての講演。つづいて東海北陸厚生局臨床研修審査専門官の安田あゆ子先生による、臨床研修制度の意義や仕組みについての講演に加えて、安田先生自らの研修医時代から呼吸器外科医、あるいは厚生労働省の行政側から仕事を

療を維持しよりよくしていく為にもがんばってほしいと締めくくった。

午後からは赤穂市民病院院長で全国自治体病院協議会会長の邊見公雄先生が演壇にたち、恒例の手話による自己紹介のあと、日本の医療経済や医療安全といったトピックな話題から、赤穂市民病院における患者さんや職員のコミュニケーションの為のユニークな取り組みが紹介された。中でも職員自身のイラストによる医療安全カルタや、病院祭り、ロビーコンサートの取り組みは新研修医たちの興味深く聞いていた。そして最後は患者支え合い人権センターCOMLの辻本好子理事長による電話相談や闘病体験などの講演で2時間に及ぶ長時間の講演にも関わらず、新研修医に加えて三重大病院の新卒看護師が熱心に耳を傾けていた。



ランチョンセミナーでは、聖路加国際病院内科の田中まゆみ先生が、大学を卒業してから米国や現在聖路加病院で働くようになるまでのキャリアパスを紹介しながら、日米の医療制度や医療現場の違いなどについて説明をされ、現在残念ながらもまだ北米のレジデントに

MMC臨床研修合同オリエンテーションは、大量の研修医を抱えるいわゆるメガホスピタルの少ない三重県において、中小規模の病院の研修医にも一生の思い出に残る講演を聴いてもらおうという趣旨で、平成16年から始まった企画である。臨床医としてどんどん経験を積んで、一人前の医師として社会に貢献すると同時に、臨床研修の最初の日の気持ちや感動も、いつまでも忘れず抱いての活躍を祈るばかりである。

MMC輸液セミナー 開催報告

就職したばかりの4月、研修医たちは夕方集まり、熱心に輸液セミナーを受講していた。1年目研修医を主に対象としているが、2年目研修医も「昨年受講できなかったから」と今年に参加する方もいた。また昨年同様、薬剤師や医学生も参加があった。第6回目となったMMC輸液セミナーだが、より一層の充実をはかり、来年度も行う予定である。

開催日	医師	その他	合計
4月7日	45	2	47
4月8日	22	4	26
4月14日	18	0	18
4月15日	24	6	30
4月21日	20	2	22
4月22日	16	8	24
合計	145	22	167

四日市会場 松阪会場

